

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 山口県共同募金会

目 次

＜はじめに＞	1
＜事業の実績＞	
1 共感できる募金の推進	
(1) 明確に説明できる目標額の設定	2
(2) 従来の募金手法の取組	2
(3) 新たな募金手法の取組	3
2 共同募金運動推進のための取組	
(1) 福祉教育による寄付文化の浸透	4
(2) 赤い羽根の P R	4
3 地域ニーズを反映した助成	
(1) 県域助成	5
(2) 地域福祉事業費助成	7
(3) 地域歳末たすけあい募金助成	7
(4) N H K 歳末たすけあい募金助成	7
(5) 赤い羽根 住民の「解決したい！」を応援するプロジェクト	7
(6) 使途の明確化	7
(7) 配分委員会の開催等	8
4 組織運営	
(1) 理事会及び評議員会等の開催	8
(2) 市町共同募金委員会との連携等	8
(3) 研修会への参加	8
(4) 県社会福祉協議会との連携	9
5 その他多様な取組	
(1) 災害等準備金の積立及び取崩し	9
(2) 災害義援金の募集等	9
(3) 被災者への見舞金の支給	10
(4) 民間資金による助成事業への協力	10
(5) 受配者指定寄付金	10
(6) 共同募金協力者等に対する顕彰	10

＜はじめに＞

令和6年度で共同募金運動は78回目を迎えました。人口減少に加え、物価の高騰、コロナ禍による地域のつながりの希薄化や地域活動の低下など、厳しい環境でしたが、皆様に共感をもって寄付いただけるよう積極的に募金活動に取り組みました。

この結果、令和6年度の募金実績は3億3,331万円余(対前年度比106.0%)となり、前年度を1,872万円余上回る大幅な増加となりました。募金実績の増加は、令和元年度以来であり、これは、全国の共同募金会に対する自由民主党からの大口寄付が大きな要因ですが、それを除いても、テーマ募金等の増により0.5%の増加となっています。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

募金の方法別では、戸別募金が、人口の減少や高齢化の進行などにより減少が続いており、法人募金や街頭募金、イベント募金も減少しましたが、一方で個人募金は遺贈などにより増加となり、職域募金も増加しました。また、新たな募金手法では、テーマ募金が、過去最多の活動認定団体となったことなどから、過去最高の887万円余の実績となり、10年目を迎えた「UMOUプロジェクト in 山口」も、行政との連携推進により過去最高の112万円余となるなど、着実に成果が挙がっています。

一方、助成については、コロナ禍やその後の急激な物価高による経済的な困窮への対応として、中央共同募金会が主導する生活困窮者対策に取り組むとともに、県社会福祉協議会と連携して取り組んでいる「特別助成プログラム」については、引き続き「ひきこもりの人」や「ヤングケアラー」をテーマとし、4年目となる令和6年度は、広域的な展開に向けたネットワークづくりを重点的に支援することとしました。

さらに、共同募金のより効果的な活用に向けて、中央共同募金会のモデル事業を活用して、住民の「解決したい!」を応援するプロジェクトを立ち上げ、自治会などの協力の下、市町の共同募金委員会や社会福祉協議会と協働して、3か年の計画で地域のニーズに即した新たな助成プログラムの開発に取り組んでいるところです。

社会の変化に伴って、地域の福祉ニーズは多様化、複雑化しており、また、ポスト・コロナ社会に向けた継続的な支援をはじめ、社会的孤立、引きこもり、ヤングケアラー等の新たな福祉課題、さらには、近年頻発している大規模自然災害への対応など、共同募金の役割はますます重要になっています。

本会としては、「共同募金の運動性の再生10年方針」(平成30年3月策定)に基づき、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、今後とも、市町共同募金委員会と一体となって、共同募金運動を積極的に推進してまいります。

＜事業の実績＞

1 共感できる募金の推進

市町共同募金委員会との連携のもと、地域の解決すべき課題等を把握し、地域住民に明確に示した上で、戸別募金や法人・職域募金等の推進を図るとともに、「赤い羽根テーマ募金」や「募金百貨店プロジェクト」、「UMOUプロジェクト in 山口」などの新たな募金手法の充実強化に取り組みました。

(1) 明確に説明できる目標額の設定

共同募金は計画募金であり、県全体で必要となる資金ニーズや公募結果等を踏まえた目標額を設定するとともに、広く周知を図りました。

○目標額	一般募金	258,640千円
	地域歳末たすけあい募金	71,500千円
	NHK歳末たすけあい募金	6,000千円
	赤い羽根テーマ募金	6,600千円
合 計		342,740千円

※募金総額：333,311千円余（前年度：314,590千円余）

(2) 従来の募金手法の取組

戸別募金や法人・職域募金等、従来の募金手法を活用した募金に積極的に取り組みました。

ア 一般募金（付属資料P2、5）

実 績：248,206千円余（前年度：233,492千円余）

(ア) 戸別募金（付属資料P5）

実 績：166,436千円余（前年度：171,581千円余）

自治会や町内会等の協力のもと、地域の各世帯に広く募金の呼びかけ等を行いました。

(イ) 法人・職域募金（付属資料P5）

実 績：33,406千円余（前年度：35,394千円余）

県共同募金会と市町共同募金委員会との役割分担のもと、それぞれ法人・職域への募金の依頼や呼びかけ等を行いました。

(ウ) 街頭募金・イベント募金（付属資料P5）

実 績：8,005千円余（前年度：8,662千円余）

街頭募金、イベント募金のいずれも減少となりました。

(I) 学校・子ども会募金（付属資料P 5）

実 績：3,348千円余（前年度：3,270千円余）

学校での募金活動や県子ども会連合会と連携した組立式募金箱の提供による募金活動が行われました。

(オ) その他（付属資料P 5）

実 績：37,009千円余（前年度：14,584千円余）

個人からの遺贈や団体からの大口寄付がありました。

イ 地域歳末たすけあい募金（付属資料P 6）

実 績：72,069千円余（前年度：70,860千円余）

市町共同募金委員会において、歳末に支援が必要な方々のための募金活動を実施しました。

ウ NHK歳末たすけあい募金（付属資料P 14）

実 績：4,159千円余（前年度：4,318千円余）

NHK山口放送局において、募金の開始式を実施するとともに募金受入窓口を設置し、放送により広く募金を呼びかけました。

(3) 新たな募金手法の取組

赤い羽根テーマ募金や募金百貨店プロジェクトなどに加え、新たにPay Payを使った募金が可能となるなど、新たな募金手法に積極的に取り組みました。

ア 赤い羽根テーマ募金（付属資料P 7）

実 績：8,875千円余（前年度：5,919千円余）

過去最多となる10団体がテーマ募金活動団体として認定を受け、積極的に募金を呼びかけていただいた結果、過去最高の募金額となりました。

イ 募金百貨店プロジェクト（法人募金の内数、付属資料P 8）

実 績：6,498千円余（前年度：6,479千円余）

企業・団体等が、“寄付つきの商品・企画”を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付する「募金百貨店プロジェクト」について、新たに2法人と協定を締結しました。

ウ UMOUプロジェクト in 山口（法人募金の内数、付属資料P 8）

実 績：1,129千円余（前年度：1,065千円余）

使われなくなった羽毛製品のリサイクル収益を寄付金とする「UMOUプロジェクト in 山口」の推進に市町共同募金委員会と共同で取り組みました。新たに下関市の最終処分場でも回収が始まるなど、行政との連携も着実に進んでおり、募金額も過去最高となりました。

▽スポーツクラブNAP秋祭りへの出展（10月13日）※山口県立大学学生サークルMEP（未来を笑顔にプロジェクト）協力

エ ガチャガチャ募金（一般募金の内数、付属資料P8）

実績：1,186千円余（前年度：1,172千円余）

新たに山口県PR本部長ちよると赤い羽根をデザインしたコラボ缶バッジを作成しました。

オ Pay Pay 募金（一般募金の内数）【新規】

実績：1千円余（前年度：実績なし）

令和6年10月から、新たにキャッシュレス決済「Pay Pay」を使って、匿名による募金ができるようになりました。令和6年度はインターネット回線経由の募金ですが、今後、QRコードによる募金も可能になる見込みです。

2 共同募金運動推進のための取組

共同募金運動の一層の推進を図るため、福祉教育による寄付文化の浸透を図るとともに、様々な場面や機会を活用して赤い羽根のPRに努めました。

(1) 福祉教育による寄付文化の浸透

寄付文化の浸透を図るため、MEPと連携し、赤い羽根を活用した福祉教育に取り組みました。

▽地域における普及活動等

- ・周南市自治会連合会総会において募金活動への感謝と取組を紹介（6月27日）
- ・令和6年度学生ボランティア会議（山陽小野田市社会福祉協議会主催）における赤い羽根共同募金の講座の開催（8月7日、20日）※MEP協力
- ・中小企業家同友会山口支部勉強会において、企業による社会貢献の例として共同募金を活用した取組を紹介（9月5日）

(2) 赤い羽根のPR

赤い羽根共同募金運動の気運醸成を図るため、赤い羽根の着用を促進するとともに、様々な場面で赤い羽根が目に触れる環境づくりを進めました。

ア 赤い羽根キックオフイベントの実施（10月1日）

ゆめタウン山口において、キックオフイベントを開催しました。

イ 寄付金贈呈式等を活用したPR

寄付金贈呈式や助成金交付式（4月22日）を実施しました。

ウ 赤い羽根着用の働きかけ

一般住民と接する機会の多い金融機関の窓口職員や、放送を通じてPRできるマスコミ関係者に対して、運動開始時の赤い羽根着用を働きかけました。

エ オリジナルバッジ等によるPR

レノファ山口FCの協力を得て、赤い羽根×レノ丸バッジを作成し、募金資材や赤い羽根PR資材として活用しました。

オ 赤い羽根共同募金パンフレットの作成

赤い羽根共同募金の実績や使い道を分かりやすく記載した「赤い羽根レポート2023」を作成・配布し、赤い羽根共同募金の理解促進を図りました。

カ 遺贈・相続寄付に関するパンフレットの作成

ホームページに遺贈・相続寄付のサイトを設け、山口県版のパンフレットを掲載し、広く寄付を呼びかけました。

キ ホームページ等によるPR【拡充】

赤い羽根共同募金運動や本会の事業等について、これまでのホームページとフェイスブックに加え、新たにInstagramによる情報発信を行いました。

また、こうしたSNSを活用した情報発信を戦略的・効果的に行うことができるよう、市町共同募金委員会の職員等を対象に基礎から実践までを体系的に学ぶ広報研修（全7回）を実施しました。

3 地域ニーズを反映した助成

共同募金の使命である地域福祉の充実を図るため、地域ニーズを的確に把握して助成を行うとともに、助成した活動の内容や成果を赤い羽根レポート2023やホームページ等に掲載し、情報発信に努めました。

また、県社会福祉協議会と連携して取り組む「特別助成プログラム」により、これまで取組が進まなかった課題の解決に向けて重点的な支援を行うとともに、共同募金の運動性の再生を図るため、中央共同募金会のモデル事業を活用し、地域のニーズや実態を踏まえた新たな助成プログラムの開発に取り組みました。

(1) 県域助成

ア 公募助成（付属資料P9～10、15）

実績：29件 21,420千円 ※内1,240千円はNHK歳末から充当
（前年度：27,490千円）

関係団体等への通知や本会ホームページへの掲載等を通じて幅広く広報し、適切な助成となるよう努めました。また、配分委員会における意見等を助成団体にフィードバックし、活動内容等の充実に向けた支援を行いました。

イ 特別助成プログラム【拡充】

事業費：8,000千円（前年度：6,000千円）

「ひきこもりの人」及び「ヤングケアラー」を支援する団体に対して、重点的な助成を行っており、4年目となる令和6年度事業（令和7年度実施分）については、継続団体に加え、ネットワーク形成に係る活動を行う団体の助成上限額を引き上げ、活動の拡充を支援することとしました。

《参考》

令和5年度事業（令和6年度実施分）実績：12件 3,385千円

(ア) 「ひきこもりの人」を支える赤い羽根プロジェクト

団体名	所在地	活動内容	助成額(円)
えこの里	防府市	居場所づくり、就労移行支援	500,000
NPO法人 シンフォニーネット	下関市	相談・居場所づくり、作業体験	300,000
ミニサロンの原	防府市	居場所づくり	100,000
ふれあいいきいきサロンドレミ	防府市	居場所づくり	180,000
Beside びさいど	宇部市	座談会、勉強会・相談会、家庭訪問	80,000
(福) 扶老会	宇部市	居場所提供、就労支援、交流イベント等	500,000
NPO法人 NO BORDER	光市	居場所づくり、学習支援	300,000
NPO法人 ふらっとコミュニティ	宇部市	勉強会、居場所づくり	500,000
山口県きらら会	防府市	居場所提供、就労訓練	230,000
計			2,690,000

(イ) 「ヤングケアラー」を支える赤い羽根プロジェクト

団体名	所在地	活動内容	助成額(円)
地域食堂ふらっと	美祢市	フードパントリー	130,000
曾根地区福祉の輪づくり運動推進委員会	平生町	福祉・介護・教育の連携研修会	65,000
NPO法人 コネクト・ワン	周南市	お楽しみ会プロジェクト、どようがっこう	500,000
計			695,000

ウ 赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン 生活困窮

者への緊急支援活動助成（付属資料P11）

実績：4件 1,230千円（前年度：0）

中央共同募金会の委託により、市町社会福祉協議会等が、生活困窮者に対し生活相談時に配布する食料や日用品の整備等に要する経費を助成しました。

エ 赤い羽根テーマ募金助成（付属資料P18～19）

実績：10件 8,875千円余（前年度：5,919千円余）

犯罪被害者の支援や子ども食堂同士の交流支援など、テーマ募金認定10団体が取り組む活動に対し助成を行いました。

(2) 地域福祉事業費助成（付属資料P12）

実績：173,360千円余 ※内18,690千円余は地域歳末から充当
（前年度：176,482千円余）

市町共同募金委員会において、地区社協や自治会等が行う小地域福祉活動に助成するとともに、新たな地域課題を踏まえた活動への助成を進めました。

(3) 地域歳末たすけあい募金助成（付属資料P13）

実績：53,379千円余（前年度：55,246千円余）

各市町共同募金委員会において、高齢者や障害者などの支援が必要な方々に対し助成を行いました。また、地域福祉事業費助成の財源に一部を充当しました。

(4) NHK歳末たすけあい募金助成（付属資料P15～17）

実績：3,931千円余 ※内1,240千円は県域公募助成事業に充当
（前年度：4,009千円余）

児童養護施設や障害児施設等の子どもたちへのお年玉プレゼント、児童養護施設等から自立する児童に対する支援を行うとともに、県域公募助成の財源に一部を充当しました。

(5) 赤い羽根 住民の「解決したい！」を応援するプロジェクト【新規】

中央共同募金会の「新たな助成・募金・広報プログラム開発モデル事業」を活用し、令和6～8年度の3か年事業で地域の福祉課題に即した助成プログラムの開発に取り組んでいます。

令和6年度は、モデル地区として下関市菊川地区、防府市向島地区、長門市渋木・真木地区、同俵山地区、和木町沖地区、同瀬田・関ヶ浜の6地区を選定し、モデル地区が所在する市町共同募金委員会や社会福祉協議会と協働して、当該地区の自治会・町内会等地域の関係団体の協力の下、地域の福祉課題の把握やその解決に向けた取組方策の検討等を行いました。

(6) 使途の明確化

共同募金の使途が寄付者に明確に伝わるよう、ホームページやフェイスブック、インスタグラムに「ありがとうメッセージ」を掲載するとともに、募金実績

や使途などをまとめた活動報告書「赤い羽根レポート2023」を作成し、配布しました。

(7) 配分委員会の開催等

助成の適正な実施を図るため、配分委員会による現地調査、ヒアリング及び審議を行いました。

- ・配分委員会の開催：7月22日（小委員会）、8月28日、3月5日
- ・現地調査：6団体、3日間
- ・ヒアリング：19団体、5日間

4 組織運営

本会の適切な運営を図るため、理事会及び評議員会等を開催するとともに、市町共同募金委員会との緊密な連携を図り、共同募金運動の一層の推進に努めました。

また、職員の資質向上のため様々な研修に積極的に参加しました。

(1) 理事会及び評議員会等の開催

- ・理事会：6月6日、9月11日、3月14日
- ・評議員会：6月26日、9月20日、3月24日
- ・評議員選任・解任委員会：6月11日（決議の省略）、9月18日
- ・監事監査：5月23日

(2) 市町共同募金委員会との連携等

- ・市町共同募金委員会事務局長・担当者会議
6月18日（オンライン）
8月27日（県社会福祉会館）
2月26日（県健康づくりセンター、オンライン併用）
- ・市町共同募金委員会新任職員研修：6月11日（県社会福祉会館）
- ・広報研修「募金に繋がる広報戦略と技術を身に付ける！」（全7回）（再掲）
- ・共同募金運動推進強化特別支援事業による支援（8市町共同募金委員会）

(3) 研修会への参加

職員の資質向上を図るため、研修会等に積極的に参加しました。

ア 共同募金関係研修会等（中央共同募金会等主催分）

- ・4月18・19日 都道府県共同募金会職員会議（東京）

- ・ 7月3・4日 赤い羽根全国ミーティング（長野市）
- ・ 8月21・22日 中国・四国ブロック共同募金会職員会議（岡山市）
- ・ 11月7・8日 都道府県共同募金会職員研修会（東京）
- ・ 12月13日 オンラインサロン「PayPayを含むネット寄付の活用方法」
- ・ 12月23日 社会貢献セミナー「企業とNPOのそれぞれの強みを活かした協働による被災地支援」（オンライン）
- ・ 3月21日 オンラインサロン「Web報告会のひらき方」

イ その他の研修会等

- ・ 7月3日 生成AI活用セミナー（Y-BASE主催）
- ・ 7月9・10・17日 SNS関連オンライン研修（Megriba主催）
- ・ 10月7日 山口県地域福祉推進セミナー（山口県社会福祉協議会主催）
- ・ 10月23日 生成AI「Microsoft Copilot」ミニセミナー（リコーージャパン(株)主催）

(4) 県社会福祉協議会との連携

共同募金計画については、県社会福祉協議会の意見を踏まえて策定するとともに、県社会福祉協議会が策定した「福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」の推進を図るため、「特別助成プログラム」により重点的な助成を行いました。

5 その他多様な取組

(1) 災害等準備金の積立及び取崩し（付属資料P20）

被災地でのボランティア活動をサポートする災害ボランティアセンター等の設置・運営経費を支援するため、令和6年度共同募金実績の3%相当額を災害等準備金に積み立てました。

- ・ 災害等準備金積立額：9,999千円（前年度：9,437千円）
- ・ 災害等準備金による助成：実績なし（前年度：4,017千円余）
- ・ 災害等準備金の他県への拠出：実績なし（前年度：3,996千円余）

(2) 災害義援金の募集等

全国の共同募金会が実施した災害義援金の募集に協力しました。

- ・ 他県受入災害義援金取扱額：4,048千円余（前年度：10,522千円余）

(3) 被災者への見舞金の支給（付属資料P 2 1）

県内の風水害や火災等により亡くなられた方や住居の被害を受けた世帯に対し、見舞金を支給しました。

実 績：170件 2,350千円（前年度：1,320千円）

(4) 民間資金による助成事業への協力

地域福祉を推進するための民間助成事業について、推薦等の協力をしました。

ア 中央競馬馬主社会福祉財団

法人名	施設名	所在地	助成額(円)	事業内容
(福)ひらきの里	生活介護・就労継続支援B型事業 ひらきの家	山口市	1,920,000	1BOX 1400CC
(福)山口県社会福祉事業団	特別養護老人ホーム オアシスはぎ園	萩市	1,920,000	普通車両 1500CC
(福)紫雲会	特別養護老人ホーム むつみ園	萩市	1,930,000	屋上防水
(NPO)シンフォニーネット	就労継続支援B型事業 mimihana カフェ	下関市	1,000,000	トイレ改修
合 計			6,770,000	

イ 篠原欣子記念財団 子ども食堂応援プログラム（付属資料P 2 2）

中央共同募金会の赤い羽根福祉基金を財源として、子ども食堂を運営する生野きらきら地域食堂など9団体に各5万円、総額45万円を助成しました。

ウ 毎日新聞西部社会事業団（付属資料P 2 3）

財団法人 山口県肢体不自由児協会（肢体不自由児の研修） 100千円

(5) 受配者指定寄付金

指定した社会福祉法人等の公益法人に寄付をすることができる「受配者指定寄付金」については、該当がありませんでした。

(6) 共同募金協力者等に対する顕彰

共同募金運動の推進に功績のあった個人や団体の推薦や顕彰を行いました。

ア 厚生労働大臣表彰（1人、1団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	柴田 學 樹	防府市	全国社会福祉大会 令和6年11月26日 浅草公会堂
奉仕団体	柳井広域仏教会	柳井市	

イ 中央共同募金会会長表彰（3人、1団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	江嶋 亜企雄	宇部市	全国社会福祉大会 令和6年11月26日 浅草公会堂
〃	松村 郁子	萩市	
〃	重枝 操	防府市	
優良地区・団体	岩国市共同募金委員会	岩国市	

ウ 山口県知事表彰（3人、2団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	太田 英弘	下関市	山口県総合社会福祉大会 令和6年10月31日 ルネッサながと
〃	井上 博己	宇部市	
〃	大場 尚武	防府市	
奉仕団体	高森婦人会	岩国市	
〃	周南地区労働者福祉協議会	周南市	

エ 山口県共同募金会会長表彰等（24人、20団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	荒牧 利男	下関市	山口県総合社会福祉大会 令和6年10月31日 ルネッサながと
〃	畠中 早苗	宇部市	
〃	筒井 茂明	〃	
〃	石丸 雅子	〃	
〃	岩崎 邦彦	〃	
〃	河村 宏是	〃	
〃	花田 和三	〃	
〃	小林 康宏	〃	
〃	原 幸一	萩市	
〃	木村 良和	〃	
〃	来原 茂夫	〃	
〃	新山 百代	〃	
〃	伏谷 庄子	〃	
〃	小山 正人	防府市	
〃	北川 卓男	〃	
〃	水田 三代春	山陽小野田市	
〃	平田 武	〃	
〃	大森 弘文	〃	
〃	尾崎 燎子	〃	

奉仕者	鈴木 洋 右	山陽小野田市
〃	平 中 政 明	〃
奉仕団体	長門市立通小学校	長門市
〃	長門市立神田小学校	〃
〃	長門市立向津具小学校	〃
〃	長門市立俵山小学校	〃
〃	長門市立油谷小学校	〃
〃	長門市立明倫小学校	〃
〃	長門市立日置小学校	〃
〃	長門市立仙崎小学校	〃
〃	長門市立浅田小学校	〃
〃	長門市立深川小学校	〃
〃	長門市立向陽小学校	〃
〃	山口県立柳井高等学校	柳井市
〃	赤い羽根啓発団体ME P	山口市
従事者	歳 谷 英 治	岩国市
〃	金 織 平 浩	下松市
〃	村 田 圭 司	防府市
感謝	医療法人社団青山会 リフレまえた 病院	岩国市
〃	旭酒造株式会社	〃
〃	特定非営利活動法人しゅうとう 福祉工房	〃
〃	東山口信用金庫周東玖珂支店	〃
〃	有限会社松永	〃
〃	医療法人岩見内科医院	〃
〃	清誓寺	〃